

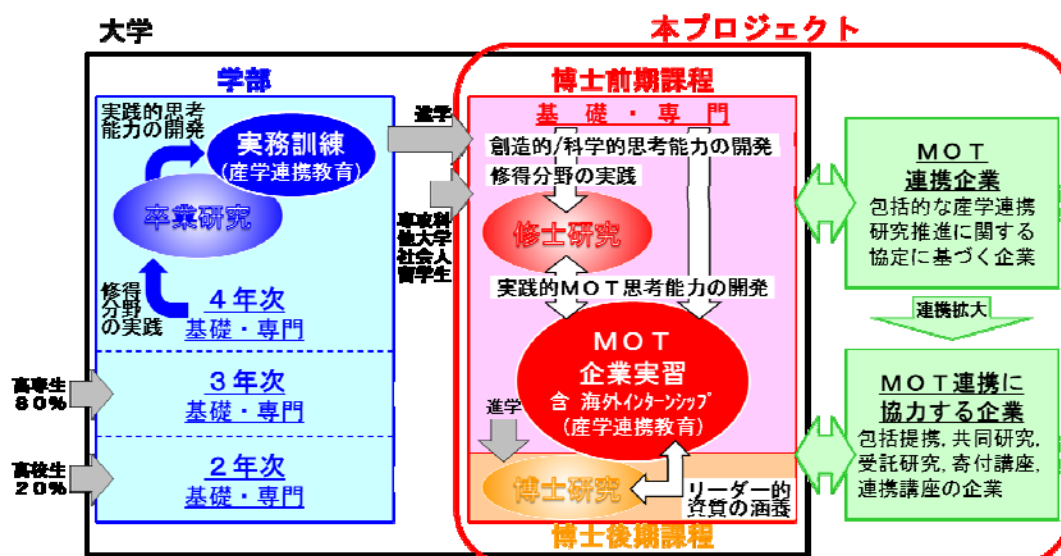
**産学連携による実践型人材育成事業 ―長期インターンシップ・プログラム開発―
最終評価結果**

大 学 名	豊橋技術科学大学
プロジェクト名称	社会環境即応型リーダー技術者育成プラン ―MOT 指向生産システム技術科学教育によるリーダー人材の養成―
事業責任者	学長 榊 佳之

事業概要

本事業は、昨今の激動する知的基盤社会に即応可能な高度人材育成への要求に鑑み、社会環境や市場性を的確に把握できるリーダー型技術者を養成することを目的とする。2ヵ月間、大学独自のインターンシップ(実務訓練)を経た実践的思考力のある大学院博士前期課程学生や、基礎人間力に優れた博士後期課程進学予定者を、連携企業の研究開発現場に派遣することにより、高度な専門性やMOT的素養を、企業と共同で育成することが特徴である。

らせん型教育(基礎⇄専門, 理論⇄実践)における本プロジェクトの位置付け



最終評価結果

(総合評価) A : 所期の計画と同等の取組が行われた

コメント

《優れた点》

- ・ 学部学生時に必修科目として2ヵ月の長期インターンシップを経験した上に、博士前期課程でより高度な専門性の向上を図るため、MOT的素養の涵養を企業との共同研究の場を主体に推進する本プログラムは、他大学では見られない優れた特徴を有する取組みであると評価できる。
- ・ MOT教育を施す中で企業側の機密内容まで踏み込んだインターンシップを実施する仕組みを構築した点が優れている。
- ・ 就職した修了者に対して追跡調査を実施し、分析・評価を試みている点を評価したい。
- ・ 大学全体として、産業界とのコンタクトを色々な面で前向きに取り組む風土を醸成している点が良い。

《今後に期待する点》

- ・ 学部段階で実施されるインターンシップが必修であり、400名程度の参加者がいることを考えると、本プログラムについて、年間10名程度の参加者数が適正かどうか、検証していくことが望ましい。
- ・ 企業秘密まで踏み込んだインターンシップであるため、企業との信頼関係の構築等、難しい課題はあると思うが、現状からさらに参加企業数が増えるよう努力して欲しい。
- ・ プロジェクトに参加した博士前期課程の学生の能力が、非参加の学生と比較してどう変化したか等を、就職した企業の評価や博士課程進学後の教員の評価などで、引き続きフォローすることが重要である。